

野菜の需給・価格動向レポート(平成23年1月4日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	11月の価格動向		12月の価格動向			生育及び価格の1月の見通し			
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	下旬	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	上旬	中旬				
葉 茎 菜	キャベツ	66.3	118	66.3	89	72	・入荷見込量:12,531t(100) ・主産地:愛知(57)、千葉(23)、神奈川(13)	・愛知産は、全体的には小玉傾向であったが回復しつつあり、順調な出荷となる見込み。ただし、今後寒さが続く今年は根の張りが悪いので、生育への影響が懸念される。千葉産も生育が回復し、平年並みの出荷が見込まれる。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。	
		69.92	124	69.92	98	78	・入荷見込量:3,400t(106) ・主産地:愛知(45)、大阪(17)、兵庫(9)、三重(8)、和歌山(6)、佐賀(6)		
	ねぎ (関東:白ねぎ、 関西:青ねぎ)	218.22	288	218.22	264	252	・入荷見込数量:5,081t(98) ・主産地:千葉(33)、埼玉(31)、茨城(12)、群馬(11)、輸入(4)	・千葉産は、夏場の少雨の影響で遅れていた分の出荷が進み、順調な出荷だが、細め傾向で前年の出荷量には届かない。埼玉産も増加傾向にあるものの、平年の8割程度の出荷量となる見込み。 ・入荷量が回復しつつあるが、平年並みの出荷量に届かないことから、価格はやや高めで推移する見込み。	
		444.77	411	444.77	373	344	・入荷見込数量:220t(99) ・主産地:徳島(27)、大阪(17)、高知(15)、奈良(13)、香川(8)、群馬(7)		
	はくさい	36.65	64	36.65	48	45	・入荷見込量:13,293t(98) ・主産地:茨城(87)、群馬(11)	・茨城産は、多少小玉傾向で前年よりやや少なめの見込み。群馬産は、平年並みの出荷の見込み。 ・茨城産の総出荷量がやや少なめと見込まれることから、価格はやや高めに推移する見込み。	
		53.29	77	53.29	60	56	・入荷見込量:4,000t(100) ・主産地:愛知(26)、茨城(23)、兵庫(13)、福岡(10)、熊本(9)、宮崎(7)、岡山(6)		
	ほうれんそう	333.43	456	333.43	373	329	・入荷見込量:1,730t(101) ・主産地:群馬(29)、埼玉(23)、茨城(21)、千葉(19)	・群馬産・千葉産ともに、生育が順調で潤沢な出荷が見込まれる。 ・価格は、平年並みに推移する見込み。	
		399.77	455	399.77	440	374	・入荷見込量:550t(105) ・主産地:徳島(59)、福岡(20)、群馬(10)		
	レタス	144	185	259.83	143	134	・入荷見込量:6,896t(102) ・主産地:静岡(36)、兵庫(13)、香川(12)、千葉(7)	・静岡産は、潤沢な出荷となっていたが、11月下旬、12月上旬の多雨の影響から小玉傾向となっており、1月は平年並みか平年を下回る見込み。兵庫産は、12月に出荷が前進した影響で、1月は少なめの出荷となる見込み。香川産は、1月は潤沢な出荷が見込まれていたが、寒波の影響でピークが2月にずれこむ見込み。 ・入荷量が減ると見込まれることから、価格は現状は低めで推移しているが上昇し、平年並みで推移する見込み。	
		147.25	188	238.68	161	130	・入荷見込量:1,050t(105) ・主産地:兵庫(53)、徳島(25)、香川(9)		
	たまねぎ	76.15	149	76.15	153	149	・入荷見込量:7,352t(90) ・主産地:北海道(85)、輸入(15)	・北海道産は、小玉傾向かつ成品率が悪いことから、出荷量は平年を下回る見込み。 ・北海道産が不作であることから、価格は平年より高めに推移する見込み。	
		76.15	158	76.15	156	148	・入荷見込量:3,100t(90) ・主産地:北海道(64)、兵庫(22)、大阪(6)		
果 菜	きゅうり	上中旬 262.75 下旬 370.98	298	370.98	273	294	・入荷見込量:5,435t(99) ・主産地:宮崎(34)、千葉(22)、高知(22)、茨城(9)、埼玉(6)	・宮崎産・千葉産は、生育が順調で平年並みの出荷となる見込み。高知産は冷え込みや天候不順の影響により、平年を下回る出荷量となる見込み。 ・高知産の入荷量が伸びないことから、価格は平年よりやや高めで推移する見込み。	
		上中旬 271.16 下旬 350.33	279	350.33	265	284	・入荷見込量:1,100t(101) ・主産地:宮崎(48)、徳島(22)、高知(19)、愛媛(9)		
	トマト	315.83	420	332.6	356	344	・入荷見込量:4,600t(100) ・主産地:熊本(42)、愛知(14)、栃木(11)静岡(6)、千葉(6)、宮崎(4)	・熊本産は、生育が良好で順調な出荷で推移してきたが、12月末の冷え込みや日照不足の影響で、出荷量はやや減少する見込み。愛知産は、順調な出荷だが微減傾向。 ・出荷量の伸び悩みから、価格はやや高めで推移する見込み。	
		337.88	447	311.06	370	343	・入荷見込量:780t(105) ・主産地:熊本(55)、愛知(12)、福岡(12)、徳島(7)		
	なす	316.84	367	389.03	362	376	・入荷見込量:1,885(99) ・主産地:高知(64)、福岡(16)、佐賀(6)	・高知産は、曇天や冷え込みの影響で平年よりやや少なめの出荷の見込み。福岡産は、成り疲れにより出荷量が減少しており、日照不足や冷え込みの影響から出荷量の回復が1月中下旬になる見込み。 ・出荷量の伸び悩みから、価格はやや高めで推移する見込み。	
		277.06	359	397.74	357	400	・入荷見込量:260t(100) ・主産地:高知(28)、熊本(25)、福岡(23)、岡山(15)、徳島(6)		
	ピーマン	327.99	376	327.99	357	338	・入荷見込量:1,244t(99) ・主産地:宮崎(41)、高知(23)、茨城(20)、鹿児島(13)	・宮崎産は、順調な生育・出荷となっており、平年並みの出荷となる見込み。高知産・茨城産は、1月は減少するものの大きな減少にはならない見込み。 ・主力の宮崎産が順調な出荷となっていることから、価格は平年並みかやや低めで推移する見込み。	
		336.77	372	336.77	338	353	・入荷見込量:290t(95) ・主産地:宮崎(67)、高知(22)、鹿児島(8)		
	根 菜	だいこん	64.33	78	64.33	56	50	・入荷見込量:12,279t(100) ・主産地:神奈川(55)、千葉(40)、	・千葉産は天候の回復とともに、品質や肥大も良くなり、出荷量は前年並みに回復している。神奈川産も順調な生育で適度な降雨により肥大が進み通常どおりの2L中心の出荷となっており、平年並みの出荷量の見込み。 ・価格は、平年並みかやや低めで推移する見込み。
			76.48	80	76.48	60	51	・入荷見込量:3,300t(104) ・主産地:長崎(33)、徳島(23)、和歌山(18)、鹿児島(13)	
にんじん		100.82	164	100.82	116	110	・入荷見込量:6,755t(90) ・主産地:千葉(83)、埼玉(10)、茨城(5)、輸入(1)	・千葉産は夏場の少雨と10月の日照不足の影響で、前年より1割~2割減の出荷量の見込み。埼玉産も、遅れていた出荷が始まったが、前年の出荷量には届かない見込み。 ・入荷量が少なめと見込まれることから、価格は平年よりやや高めで推移する見込み。	
		104.49	141	104.49	113	122	・入荷見込量:2,000t(100) ・主産地:長崎(41)、鹿児島(22)、愛知(15)、鳥取(9)、千葉(7)		

種類	11月の価格動向		12月の価格動向			生育及び価格の1月の見通し		
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	下旬	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格				
				上旬	中旬			
いも	さといも	200.88	245	200.88	253	294	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉産は、夏の少雨の影響で小玉傾向、前年の出荷量を約2割下回る見込み。千葉産も夏の少雨、10月の降雨の影響で、生育不良がみられ、前年の出荷量を下回る見込み。</li> <li>・年末よりは低下するものの、価格はやや高めで推移する見込み。</li> </ul>	
		207.2	264	207.2	257	236		
	ばれいしょ	88.17	157	88.17	154	150		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の高温の影響で小玉傾向、空洞果多く、玉つきも悪く、出荷量は少なかった前年を下回る見込み。</li> <li>・入荷量は前年を下回る見込みで、価格は引き続き平年より高めで推移する見込み。</li> </ul>
		88.17	149	88.17	148	138		

1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。  
 2) 旬別平均販売価格の背景なしは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの(消費税は除く)。  
 3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック

1) 入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。( )内は前年対比。  
 2) 主産地は東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。  
 3) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

## 2 野菜の需要動向

年	過去5か年平均		平成21年		平成22年						
	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	前年比	金額(円)	前年比			
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1月	4,130	1,521	4,277	1,548	4,240	99	1,551	100			
2月	4,325	1,548	4,536	1,529	4,461	98	1,574	103			
3月	4,675	1,690	4,799	1,685	4,970	104	1,768	105			
4月	4,758	1,783	4,783	1,805	4,518	94	1,804	100			
5月	5,127	1,884	5,216	1,918	4,925	94	1,965	102			
6月	5,042	1,856	5,180	1,888	5,026	97	1,907	101			
7月	4,471	1,668	4,645	1,648	4,264	92	1,697	103			
8月	4,330	1,703	4,321	1,752	4,241	98	1,733	99			
9月	4,913	1,783	5,141	1,828	4,605	90	1,818	99			
10月	5,382	1,807	5,691	1,767	4,994	88	1,959	111			
11月	5,024	1,569	5,307	1,560	4,678	88	1,774	114			
12月	5,185	1,797	5,213	1,751							

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

月	キャベツ		レタス	
	過去5か年平均	平成22年	過去5か年平均	平成22年
	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)
1月	201	173	86	613
2月	188	199	106	500
3月	190	201	106	464
4月	231	343	148	435
5月	188	182	97	376
6月	151	168	112	339
7月	149	164	110	315
8月	159	169	106	449
9月	153	155	101	472
10月	146	192	132	419
11月	129	265	205	339
12月	146	184	126	456

注1：過去5か年は平成17～21年  
 注2：12月の値は、12月中旬の速報値

資料：総務省統計局「小売物価統計調査報告」

## 3 野菜の輸入動向

区分	平成20年		平成21年		平成22年1月～11月		平成22年11月	
	購入量(g)	前年比	購入量(g)	前年比	購入量(g)	前年同期比	購入量(g)	前年同期比
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
生鮮野菜	602,733	84	615,271	102	720,850	130	163	
加工野菜	1,660,663	93	1,569,627	95	1,528,708	107	117	
野菜輸入量合計	2,263,395	90	2,184,898	97	2,249,558	113	129	
うち中国産野菜合計	1,150,352	81	1,098,415	95	1,150,352	116	133	
中国産シェア	51		50		51			

資料：ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

品目	主な野菜の輸入動向 (単位：トン、%)			
	輸入先	(A) 2009.12	(B) 2010.12	(B)/(A)
たまねぎ	合計	20,546	28,157	137
	中国	15,383	17,914	116
	米国	4,972	10,243	206
にんじん	合計	1,649	4,698	285
	中国	1,571	4,528	288
	オーストラリア	48	151	315
ねぎ	合計	2,966	3,457	117
	中国	2,694	3,456	128

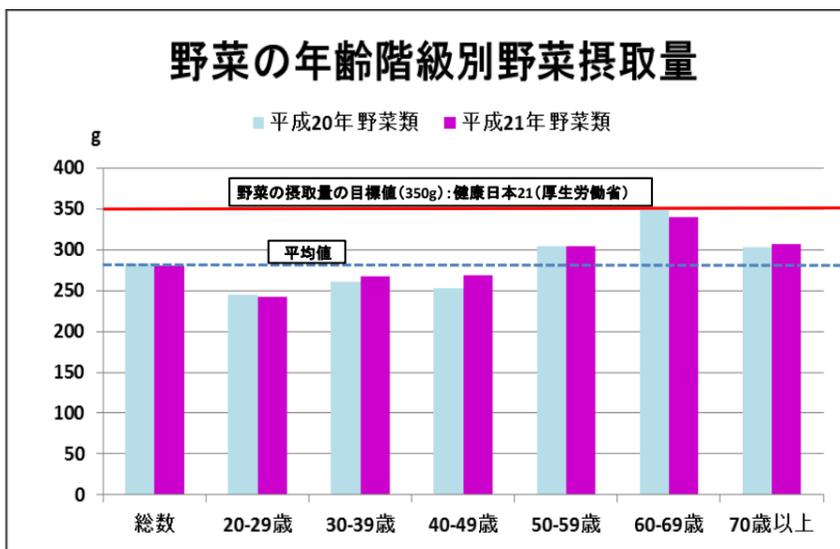
資料：農林水産省「植物防疫統計」(2010.12)は、12月第3週(12/18)までの速報値である。

## 4 トピック

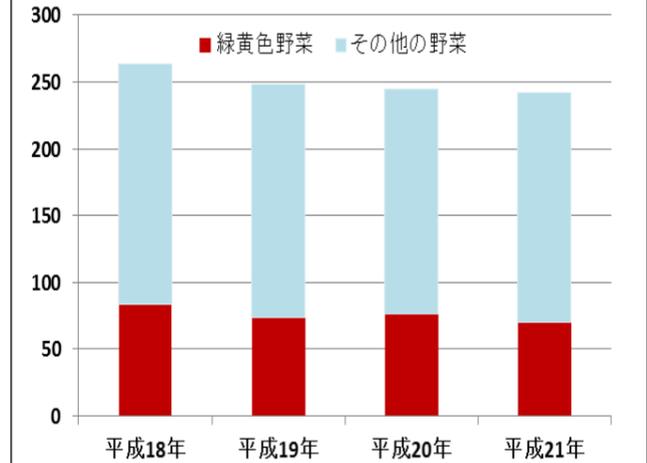
### 野菜の年齢階級別摂取量について

平成21年国民健康・栄養調査が12月7日に公表された。それによると、野菜摂取量は前年に比べ、ほぼ横ばいとなっているものの、依然として、20代、30代、40代の摂取量が少ない水準となっている。また、前年との比較でみると30代、40代は、若干改善のきざしがあるものの、60代で減少しているといった動きがみられる。こうした中で、20代は摂取量が減少傾向にあり、こうした層をターゲットとする消費拡大が求められる。

### 野菜の年齢階級別摂取量と20代の野菜の摂取量の推移



### 20-29歳の野菜摂取量の推移



	総数	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
平成20年野菜類	282.8	244.6	260.7	253.1	304.2	349.9	303.1
平成21年野菜類	280.9	241.9	266.8	268.5	303.5	339.6	306.4
対平成20年比	99	99	102	106	100	97	101

資料：厚生労働省「国民健康・栄養調査結果」

### 【大規模生産者・法人の皆様への窓口を開設しました！(直接契約課)】

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、太田、三部 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484